

ちよぴのI♡銚子

～銚子の魅力を発信するちょ～

インターネット注文で人気再沸騰！ 第5回 いしづけんじ 石津健二さんの巻



▲ミシンを踏む石津さん。笑顔がすてき。

今回はイシヅレザーの石津健二さん。
昭和14年生まれ、76歳の石津さんは今や全国でも数少ない革の服装品のリフォームを行う職人さんだちょ。
卸元がインターネットで注文を受け付け、石津さんへリフォーム依頼が届く仕組み。
革を愛用する人は、もともと革への思い入れが強く、大切に手入れする人が多い。それでもどうしても傷んでしまったものが石津さんのもとへ送られてくる。持ち主の細かいこだわりや要望にも応じる石津さんの技術は信頼が高く、全国から注文が集まるんだちょ。
これまでには、こだわりの強い芸能人の舞台衣装を手掛けたり、何十年も愛用された上着を裏地から張り直して蘇らせたりもした。石津さんの腕を頼りに、兵庫県淡路島から訪ねてきたお客さんもいたそうだちょ。「修理代よ

り自動車の方が高くていただろうね」と懐かしんで笑う石津さん。

品物を取めた後に届くお客さんからの感謝の言葉が、なによりも仕事のはりあいになると語ってくれたちょ。
気さくで笑顔がすてきな石津さんはまだまだ現役！銚子の若い人に頑張ってほしい、とエールを送ってくれたちょ。よ～し！ちよぴーも石津さんに負けないようにがんばるちょ～♪

■石津さんのお店■ イシヅレザー

東小川町2230
☎・FAX (22) 7741

協力/銚子商工会議所青年部



魚、醤油、野菜...
銚子は関東の台所！



▲下総台地上のキャベツ畑と風力発電の風車。銚子ならではの風景です。

海と川に囲まれ、
さまざまな産業を生んだ恵みの地
農業が盛んな銚子。銚子の農業にまつわるジオサイトを紹介します。
なぜ野菜づくりがさかん？
銚子は、冬・春キャベツやダイコンの生産量が国内有数。寒い時期の野菜作りが特徴的です。
銚子の大地の多くは風に運ばれてきた火山灰や塵が粘土化した閑

東ロームに覆われています。火山灰でできた土地は水はけが悪く栄養分も少なく、農業には不向きなはず。しかし、長い時間がたち植物が生え腐葉土が蓄積し、豊かな畑作地になりました。
また、冬暖かく雪もほとんど降らない銚子では、冬でもキャベツの路地栽培ができます。
さて、夏の畑にヒマワリやマリーゴールドが咲いているのを見かけませんか？これはキャベツ畑の肥料やダイコン畑の害虫対策に植えたもの。夏の畑にヒマワリやマリーゴールドが咲いている風景は、冬の作物の準備なのです。
キャベツ畑と風車がある下総台地
下総台地は埼玉県東部から千葉県北部一帯にかかるだいたい標高20m以上の高台。銚子は下総台地の東の端です。
台地の上の土地はもともと海底面で、大地の隆起で約10万年前に陸上になりました。銚子周辺では刑部岬が標高60mと最も高くなっています。緑色のキャベツ畑が広がり、白い風車が立つ風景は銚子ジオパークの見どころの一つです。

ジオツアーにでかけよう♪

銚子ジオパーク 問合せ
銚子ジオパーク推進協議会事務局 ☎(24) 89111

